地球温暖化対策報告書(その1)

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあっては名称 及び代表者の氏名)	江戸川区				
	区長 斉藤 猛				
事業者番号	A	1	0	2	0

2 報告する事業所等の全体の状況(2023年度の状況)

条例第8条の23第1項 報告事業所数	63	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	7,644	kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	0	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	0	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	14,864	t
------------	--------	---

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評価対象事業所等	☐	義務提出事業所等	☐	全事業所	☐
----------	--------------------------	----------	--------------------------	------	--------------------------

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
合計二酸化炭素排出量	14,827.00	13,620.00	14,520.00	14,860.00	14,864.00	t
合計延床面積	237,878.47	236,438.23	235,057.44	238,935.36	240,852.26	m ²
合計原単位	62.33014	57.60489	61.77213	62.19255	61.71418	kg-CO ₂ /m ²

平均合計二酸化炭素 排出量削減率	-0.06	%
平均合計原単位改善 率	0.24	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー 利用事業所数	14	事業所
再生可能エネルギー 利用事業所率	22.22	%

7 評価結果

地球温暖化対策の 取組に係る評価		ランク
---------------------	--	-----

8 実績年度の目標達成の状況

実績年度の 目標達成の状況	目標達成した。
------------------	---------

9 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無
合計二酸化炭素排出量削減率		%
合計原単位改善率		%
再生可能エネルギー導入事業所率		%
その他の	特記事項に内容を記載	

10 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1
----------	---

11 事業者としての取組

取組方針	平成13年1月に「第1次環境行動計画」を策定し、庁舎等のエネルギー消費量及び温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを開始した。以降、「第2次環境行動計画(平成17～平成19年度)」、「第3次環境行動計画(平成20～平成24年度)」、「第4次環境行動計画(平成25～平成29年度)」、「第5次環境行動計画(平成30～令和4年度)」を経て、令和5年度から「第6次環境行動計画」による取り組みを推進している。			
組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A104	取組状況の点検体制の構築
	A102	温暖化対策推進担当の配置		
	A103	具体的な取組目標と内容の設定		

12 特記事項

--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	江戸川区役所 本庁舎										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	中央 1-4-1									
事業所等の延床面積	17,429.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)				商業施設(飲食)				
	工場		複合施設				その他				
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入				証書による環境価値の利用				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	467	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	907	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	15	t
	総計(= +)	922	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	52.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	87,008.6	45.00	3,915.4	0.0136	195.2	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	1,457,145.0	9.76	14,221.7	0.4890	712.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					18,137.1		907.8	
その他	水道及び工業用水道	m ³	23,765.0			0.2660	6.3	
	公共下水道	m ³	23,765.0			0.4000	9.5	
合計							15.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C113_中間期における外気冷房の実施、C123_温湿度の適正管理、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	第二庁舎									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	2
事業所等の所在地	〒 1 3 2 - 0 0 2 1 区市町村名 江戸川区									
	町名番地下	中央 1-10-5								
事業所等の延床面積	1,711.35	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有		他者所有							
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)		建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)		商業施設(飲食)					
	工場		複合施設		その他					
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入		証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	42	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	82	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	83	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	47.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	274.5	45.00	12.4	0.0136	0.6	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	167,297.0	9.76	1,632.8	0.4890	81.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,645.2		82.4	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,808.0			0.2660	0.5	
	公共下水道	m ³	1,808.0			0.4000	0.7	
合計							1.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策		C117	便座ヒーター等温度の季節別設定	
			C127	看板照明点灯時間の季節別管理	
			C513	便座ヒーター等温度の季節別設定	
			C517	看板照明点灯時間の季節別管理	
			C524	水道メータ等で漏水の有無の点検	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小岩清掃事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	東小岩 1-7-7									
事業所等の延床面積	1,446.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	8	1	7	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	54	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	105	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	7	t
	総計(= +)	112	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	72.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	18,854.6	45.00	848.5	0.0136	42.3	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	130,129.0	9.76	1,270.1	0.4890	63.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,118.5		105.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	11,746.0			0.2660	3.1	
	公共下水道	m ³	11,746.0			0.4000	4.7	
合計							7.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108_エネルギー等情報の対策への活用、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119_自動販売機の不要時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C129_季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	葛西清掃事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	臨海町 4-1-2									
事業所等の延床面積	2,743.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	8	1	7	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	92	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	179	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	9	t
	総計(= +)	188	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	65.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	41,212.4	45.00	1,854.6	0.0136	92.5	
	その他(灯油)	L	400.0	36.70	14.7	0.0185	1.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	176,239.0	9.76	1,720.1	0.4890	86.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					3,589.3		179.7	
その他	水道及び工業用水道	m ³	14,765.0			0.2660	3.9	
	公共下水道	m ³	14,765.0			0.4000	5.9	
合計							9.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108 エネルギー等情報の対策への活用、C123 温湿度の適正管理、C125 進入外気に伴う空調負荷の低減、C132 開け放し開口部面積の縮小、C115 事務用機器を業務終了時に停止、C116 個人用端末の不用・離席時の停止、C126 事務用機器の台数見直し・集約化、C117 便座ヒーター等温度の季節別設定、C118 自動販売機の休日・夜間照明停止、C119 自動販売機の不要時の停止、C120 外灯等の点灯時間の季節別管理、C128 ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129 季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ホテルシーサイド江戸川									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	6
事業所等の所在地	〒134-0008 区市町村名 江戸川区									
	町名番地下 臨海町 6-2-2									
事業所等の延床面積	5,502.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分		1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	387	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	750	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	11	t
	総計(= +)	761	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	136.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	146,467.5	45.00	6,591.0	0.0136	328.7	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	863,027.0	9.76	8,423.1	0.4890	422.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					15,014.2		750.7	
その他	水道及び工業用水道	m ³	16,963.0			0.2660	4.5	
	公共下水道	m ³	16,963.0			0.4000	6.8	
合計							11.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C123_温湿度の適正管理、C124_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119_自動販売機の不要時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C121_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	総合文化センター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央4-14-1									
事業所等の延床面積	16,495.77	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	667	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	1,295	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5	t
	総計(= +)	1,300	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	78.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	124,354.3	45.00	5,595.9	0.0136	279.1	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	2,078,014.0	9.76	20,281.4	0.4890	1,016.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					25,877.4		1,295.2	
その他	水道及び工業用水道	m ³	8,182.0			0.2660	2.2	
	公共下水道	m ³	8,182.0			0.4000	3.3	
合計							5.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握	
			B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C508	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照時点灯時間の季節別管理、C121_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区民センター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松島 1-38-1									
事業所等の延床面積	9,318.65		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有					
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	283	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	549	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	6	t
	総計(= +)	555	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	58.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	52,821.9	45.00	2,377.0	0.0136	118.5	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	881,534.0	9.76	8,603.8	0.4890	431.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					10,980.8		549.6	
その他	水道及び工業用水道	m ³	9,911.0			0.2660	2.6	
	公共下水道	m ³	9,911.0			0.4000	4.0	
合計							6.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C124_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	篠崎公益複合施設										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	篠崎町 7-20-19									
事業所等の延床面積	2,757.42	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)				商業施設(飲食)				
	工場		複合施設				その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分		直営店	加盟店		非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入				証書による環境価値の利用				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	75	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	146	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	147	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	52.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	298,592.9	9.76	2,914.3	0.4890	146.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,914.3		146.0	
その他	水道及び工業用水道	m ³	2,984.0			0.2660	0.8	
	公共下水道	m ³	2,984.0			0.4000	1.2	
合計							2.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C113_中間期における外気冷房の実施、C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C124_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	子ども未来館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	8	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	篠崎町 3-12-10									
事業所等の延床面積	1,546.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	30	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	59	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	59	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	38.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	47.4	45.00	2.1	0.0136	0.1	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	121,671.0	9.76	1,187.5	0.4890	59.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,189.6		59.6	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,034.0			0.2660	0.3	
	公共下水道	m ³	1,034.0			0.4000	0.4	
合計							0.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	共育プラザ小岩										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北小岩 2-14-17									
事業所等の延床面積	2,231.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店		非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	40	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	79	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	80	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	35.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	505.6	45.00	22.8	0.0136	1.1	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	159,747.0	9.76	1,559.1	0.4890	78.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,581.9		79.3	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,529.0			0.2660	0.4	
	公共下水道	m ³	1,529.0			0.4000	0.6	
合計							1.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置				
	A203	具体的な取組目標と内容の設定				
	A204	取組状況の点検体制の構築				
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握				
	B105	エネルギー使用量の前年度比較				
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施	
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定	
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C110	余熱利用による早めの空調停止	
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止	
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化	
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施	
		C508	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理	
			C125	進入外気に伴う空調負荷の低減		
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検			
	設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	共育プラザ南小岩										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	南小岩 4-5-8									
事業所等の延床面積	2,015.91		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	36	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	69	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	2	t
	総計(= +)	71	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	34.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	3,266.3	45.00	147.0	0.0136	7.3	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	128,148.0	9.76	1,250.7	0.4890	62.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,397.7		70.0	
その他	水道及び工業用水道	m ³	3,111.0			0.2660	0.8	
	公共下水道	m ³	3,111.0			0.4000	1.2	
合計							2.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策			
	対策番号	対策名	対策番号	対策名		
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置				
	A203	具体的な取組目標と内容の設定				
	A204	取組状況の点検体制の構築				
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握				
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施	
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定	
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止	
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止	
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化	
				C113	中間期における外気冷房の実施	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
		D104	空調フィルターの清掃・点検			
	設備導入対策				C123	温湿度の適正管理
					C125	進入外気に伴う空調負荷の低減

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	共育プラザ之江										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	一之江 3-13-7									
事業所等の延床面積	1,916.90		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	31	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	62	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	2	t
	総計(= +)	64	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	32.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他(LPG)	kg	2,010.6	50.80	102.1	0.0161	6.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	116,308.0	9.76	1,135.2	0.4890	56.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,237.3		62.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	3,437.0			0.2660	0.9	
	公共下水道	m ³	3,437.0			0.4000	1.4	
合計							2.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	共育プラザ南篠崎										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	南篠崎町 3-12-8									
事業所等の延床面積	1,690.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有					
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	34	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	66	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	67	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	39.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	1,892.7	45.00	85.2	0.0136	4.2	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	127,519.0	9.76	1,244.6	0.4890	62.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,329.8		66.6	
その他	水道及び工業用水道	m ³	2,719.0			0.2660	0.7	
	公共下水道	m ³	2,719.0			0.4000	1.1	
合計							1.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	総合体育館									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	6
事業所等の所在地	〒133-0004 区市町村名 江戸川区									
	町名番地下 松本 1-35-1									
事業所等の延床面積	10,285.84 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分		1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	2	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	408	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	792	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	11	t
	総計(= +)	803	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	76.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	107,221.3	45.00	4,825.0	0.0136	240.6	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	1,129,364.0	9.76	11,022.6	0.4890	552.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					15,847.6		792.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	17,380.0			0.2660	4.6	
	公共下水道	m ³	17,380.0			0.4000	7.0	
合計							11.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C112_季節に応じた外気導入量の適正化、C113_中間期における外気冷房の実施、C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119_自動販売機の不要時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照時点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	スポーツランド									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	7
事業所等の所在地	〒 1 3 3 - 0 0 6 3 区市町村名 江戸川区									
	町名番地下	東篠崎 1-8-1								
事業所等の延床面積	6,023.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有		他者所有							
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)		建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)		商業施設(飲食)					
	工場		複合施設		その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	2	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入		証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	297	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	578 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	8 t
	総計(= +)	586 t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	95.9 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	11,473.2	45.00	516.3	0.0136	25.7	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	1,129,978.0	9.76	11,028.6	0.4890	552.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					11,544.9		578.3	
その他	水道及び工業用水道	m ³	13,137.0			0.2660	3.5	
	公共下水道	m ³	13,137.0			0.4000	5.3	
合計							8.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C121_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	スポーツセンター									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	8
事業所等の所在地	〒134-0088 区市町村名 江戸川区									
	町名番地以下	西葛西 4-2-20								
事業所等の延床面積	10,230.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	2	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	675	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	1,308	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	22	t
	総計(= +)	1,330	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	127.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	265,195.0	45.00	11,933.8	0.0136	595.1	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	1,459,703.0	9.76	14,246.7	0.4890	713.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					26,180.5		1,308.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	33,646.0			0.2660	8.9	
	公共下水道	m ³	33,646.0			0.4000	13.5	
合計							22.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	陸上競技場									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	9
事業所等の所在地	〒134-0087 区市町村名 江戸川区									
	町名番地下 以 下 清新町 2-1-1									
事業所等の延床面積	7,088.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	47	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	92	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3	t
	総計(= +)	95	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	12.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	707.6	45.00	31.8	0.0136	1.6	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	185,613.0	9.76	1,811.6	0.4890	90.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,843.4		92.4	
その他	水道及び工業用水道	m ³	5,916.0			0.2660	1.6	
	公共下水道	m ³	5,916.0			0.4000	2.4	
合計							3.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C112_季節に応じた外気導入量の適正化、C113_中間期における外気冷房の実施、C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C121_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	球場									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	1
事業所等の所在地	〒134-0088 区市町村名 江戸川区									
	町名番地以下	西葛西7-2-1								
事業所等の延床面積	3,793.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	43	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	84	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	85	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	22.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	72.5	45.00	3.3	0.0136	0.2	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	171,864.0	9.76	1,677.4	0.4890	84.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,680.7		84.2	
その他	水道及び工業用水道	m ³	2,490.0			0.2660	0.7	
	公共下水道	m ³	2,490.0			0.4000	1.0	
合計							1.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策			C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
	設備導入対策			D103	中央熱源機器等の定期点検の実施
				D104	空調フィルターの清掃・点検

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	臨海球技場									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	2
事業所等の所在地	〒134-0086 区市町村名 江戸川区									
	町名番地以下	臨海町 1-1-2								
事業所等の延床面積	493.98 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	61	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	120	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	121	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	242.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他(LPG)	kg	1,342.1	50.80	68.2	0.0161	4.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	237,506.0	9.76	2,318.1	0.4890	116.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,386.2		120.2	
その他	水道及び工業用水道	m ³	2,820.0			0.2660	0.8	
	公共下水道	m ³	2,820.0			0.4000	1.1	
合計							1.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		B103	時間的に詳細に把握
	B105	エネルギー使用量の前年度比較		B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	中央図書館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央 3-1-3									
事業所等の延床面積	7,500.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	328	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	636	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3	t
	総計(= +)	639	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	84.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	72,551.3	45.00	3,264.8	0.0136	162.8	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	968,188.0	9.76	9,449.5	0.4890	473.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					12,714.3		636.2	
その他	水道及び工業用水道	m ³	4,583.0			0.2660	1.2	
	公共下水道	m ³	4,583.0			0.4000	1.8	
合計							3.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108_エネルギー等情報の対策への活用、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119_自動販売機の不要時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小松川図書館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井 1-11-26									
事業所等の延床面積	1,209.18	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	38	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	75	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	75	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	62.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	14,712.5	45.00	662.1	0.0136	33.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	86,280.0	9.76	842.1	0.4890	42.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,504.2		75.2	
その他	水道及び工業用水道	m ³	981.0			0.2660	0.3	
	公共下水道	m ³	981.0			0.4000	0.4	
合計							0.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C121_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	葛西図書館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川 6-24-1									
事業所等の延床面積	1,550.55	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	35	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	69	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	69	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	44.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	142,293.0	9.76	1,388.8	0.4890	69.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,388.8		69.6	
その他	水道及び工業用水道	m ³	952.0			0.2660	0.3	
	公共下水道	m ³	952.0			0.4000	0.4	
合計							0.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108_エネルギー等情報の対策への活用、C113_中間期における外気冷房の実施、C123_温湿度の適正管理、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	西葛西図書館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西 5-10-47									
事業所等の延床面積	2,341.85	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	56	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	109	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	109	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	46.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	20,137.4	45.00	906.2	0.0136	45.2	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	132,346.0	9.76	1,291.7	0.4890	64.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,197.9		109.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,456.0			0.2660	0.4	
	公共下水道	m ³	1,456.0			0.4000	0.6	
合計							1.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108_エネルギー等情報の対策への活用、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東部図書館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	7	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川 2-26-1									
事業所等の延床面積	2,000.97	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	60	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	116	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	117	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	57.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	17,736.2	45.00	798.1	0.0136	39.8	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	156,613.0	9.76	1,528.5	0.4890	76.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,326.7		116.4	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,673.0			0.2660	0.4	
	公共下水道	m ³	1,673.0			0.4000	0.7	
合計							1.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
			B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108_エネルギー等情報の対策への活用、C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小岩図書館(新)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	8	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小岩3-6-9									
事業所等の延床面積	2,933.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	88	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	170	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	171	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	57.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	31,222.9	45.00	1,405.0	0.0136	70.1	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	206,095.0	9.76	2,011.5	0.4890	100.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					3,416.5		170.8	
その他	水道及び工業用水道	m ³	2,280.0			0.2660	0.6	
	公共下水道	m ³	2,280.0			0.4000	0.9	
合計							1.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	松江コミュニティ会館									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	9
事業所等の所在地	〒132-0025 区市町村名 江戸川区									
	町名番地下	松江 7-5-12								
事業所等の延床面積	1,747.43	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有		他者所有							
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)		建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)		商業施設(飲食)					
	工場		複合施設		その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入		証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	38	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	74	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	74	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	42.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	11,510.9	45.00	518.0	0.0136	25.8	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	100,345.0	9.76	979.4	0.4890	49.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,497.4		74.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	860.0			0.2660	0.2	
	公共下水道	m ³	860.0			0.4000	0.3	
合計							0.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	松江市民プラザ										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松江 2-1-10									
事業所等の延床面積	2,599.29		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有					
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	84	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	163	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	163	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	62.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	32,739.6	45.00	1,473.3	0.0136	73.5	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	184,504.0	9.76	1,800.8	0.4890	90.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					3,274.0		163.7	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,379.0			0.2660	0.4	
	公共下水道	m ³	1,379.0			0.4000	0.6	
合計							0.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小松川事務所									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	3
事業所等の所在地	〒 1 3 2 - 0 0 3 5					区市町村名 江戸川区				
	町名番地以下		平井 4-1-1							
事業所等の延床面積	2,002.78		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満	
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	52	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	102	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	102	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	50.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	85.1	45.00	3.8	0.0136	0.2	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	208,757.0	9.76	2,037.5	0.4890	102.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,041.3		102.3	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,396.0			0.2660	0.4	
	公共下水道	m ³	1,396.0			0.4000	0.6	
合計							0.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策			C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
	設備導入対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C123_室温の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小松川区民施設(さくらホール)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	小松川 3-6-3									
事業所等の延床面積	5,173.63	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	325	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	631	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	9	t
	総計(= +)	640	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	121.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	137,441.9	45.00	6,184.9	0.0136	308.4	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	660,196.0	9.76	6,443.5	0.4890	322.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					12,628.4		631.3	
その他	水道及び工業用水道	m ³	14,593.0			0.2660	3.9	
	公共下水道	m ³	14,593.0			0.4000	5.8	
合計							9.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策			C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
	設備導入対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108_エネルギー等情報の対策への活用、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	中平井コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	7	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井 7-1-6									
事業所等の延床面積	1,669.23	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	40	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	78	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	78	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	46.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	18,202.1	45.00	819.1	0.0136	40.8	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	77,833.0	9.76	759.7	0.4890	38.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,578.7		78.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	457.0			0.2660	0.1	
	公共下水道	m ³	457.0			0.4000	0.2	
合計							0.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当た)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	葛西事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	中葛西 3-10-1									
事業所等の延床面積	7,392.32	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	209	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	405	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	409	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	54.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	73,673.6	45.00	3,315.3	0.0136	165.3	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	491,432.0	9.76	4,796.4	0.4890	240.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					8,111.7		405.6	
その他	水道及び工業用水道	m ³	6,763.0			0.2660	1.8	
	公共下水道	m ³	6,763.0			0.4000	2.7	
合計							4.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C129_季節に応じた温度設定の見直し、E108_高効率照明器具の採用(屋外)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	北葛西コミュニティ会館									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	8
事業所等の所在地	〒134-0008 区市町村名 江戸川区									
	町名番地下	北葛西 2-11-39								
事業所等の延床面積	1,491.50 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	52	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	100	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	100	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	67.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	23,658.9	45.00	1,064.6	0.0136	53.1	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	97,886.0	9.76	955.4	0.4890	47.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,020.0		101.0	
その他	水道及び工業用水道	m ³	773.0			0.2660	0.2	
	公共下水道	m ³	773.0			0.4000	0.3	
合計							0.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策			C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
	設備導入対策			D103	中央熱源機器等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	二之江コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川 6-46									
事業所等の延床面積	1,752.80	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	41	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	81	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	81	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	46.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	18,628.4	45.00	838.3	0.0136	41.8	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	80,732.0	9.76	787.9	0.4890	39.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,626.2		81.3	
その他	水道及び工業用水道	m ³	605.0			0.2660	0.2	
	公共下水道	m ³	605.0			0.4000	0.2	
合計							0.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C508	空室・不在時等の空調停止	C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	清新町コミュニティ会館									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	1
事業所等の所在地	〒 1 3 4 - 0 0 8 7 区市町村名 江戸川区									
	町名番地以下	清新町 1-2-2								
事業所等の延床面積	2,898.66	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有		他者所有							
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)		建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)		商業施設(飲食)					
	工場		複合施設		その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入		証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	74	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	144	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	145	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	49.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	173.0	45.00	7.8	0.0136	0.4	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	295,574.0	9.76	2,884.8	0.4890	144.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,892.6		144.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,842.0			0.2660	0.5	
	公共下水道	m ³	1,842.0			0.4000	0.7	
合計							1.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策			C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E135	エレベータのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	臨海町コミュニティ会館									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	2
事業所等の所在地	〒134-0008 区市町村名 江戸川区									
	町名番地下 臨海町 2-2-9									
事業所等の延床面積	2,176.50 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分		1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	39	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	77 t	
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0 t	
	総計(= +)	77 t	
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	35.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	77.3	45.00	3.5	0.0136	0.2	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	157,867.0	9.76	1,540.8	0.4890	77.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,544.3		77.4	
その他	水道及び工業用水道	m ³	786.0			0.2660	0.2	
	公共下水道	m ³	786.0			0.4000	0.3	
合計							0.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東葛西コミュニティ会館									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	3
事業所等の所在地	〒134-0008 区市町村名 江戸川区									
	町名番地下	東葛西 8-22-1								
事業所等の延床面積	3,871.91	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有		他者所有							
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)		建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)		商業施設(飲食)					
	工場		複合施設		その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入		証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	145	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	281	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	282	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	72.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	46,059.2	45.00	2,072.7	0.0136	103.4	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	364,972.0	9.76	3,562.1	0.4890	178.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					5,634.8		281.8	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,915.0			0.2660	0.5	
	公共下水道	m ³	1,915.0			0.4000	0.8	
合計							1.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策			
	対策番号	対策名	対策番号	対策名		
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置				
	A203	具体的な取組目標と内容の設定				
	A204	取組状況の点検体制の構築				
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握		
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握		
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示	
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施	
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定	
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示	
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整	
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化	
		C508	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減	
				C132	開け放し開口部面積の縮小	
	設備保守対策				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	長島桑川コミュニティ会館									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	7	9
事業所等の所在地	〒 1 3 4 - 0 0 8 4 区市町村名 江戸川区									
	町名番地下	東葛西 5-31-18								
事業所等の延床面積	2,498.13	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有		他者所有							
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)		建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)		商業施設(飲食)					
	工場		複合施設		その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入		証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	63	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	124	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	124	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	49.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	253,880.0	9.76	2,477.9	0.4890	124.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,477.9		124.1	
その他	水道及び工業用水道	m ³	871.0			0.2660	0.2	
	公共下水道	m ³	871.0			0.4000	0.3	
合計							0.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	<input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	<input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C113_中間期における外気冷房の実施、C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	船堀コミュニティ会館									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	8	2
事業所等の所在地	〒 1 3 4 - 0 0 9 1 区市町村名 江戸川区									
	町名番地下 船堀 1-3-1									
事業所等の延床面積	2,488.61 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分		1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	57	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	112	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	112	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	45.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	22,507.6	45.00	1,012.8	0.0136	50.5	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	125,810.0	9.76	1,227.9	0.4890	61.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,240.7		112.0	
その他	水道及び工業用水道	m ³	806.0			0.2660	0.2	
	公共下水道	m ³	806.0			0.4000	0.3	
合計							0.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策			C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108_エネルギー等情報の対策への活用、C132_開放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小岩事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小岩 6-9-14									
事業所等の延床面積	3,677.64		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有					
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	114	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	222	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	2	t
	総計(= +)	224	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	60.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	39,153.4	45.00	1,761.9	0.0136	87.9	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	276,090.0	9.76	2,694.6	0.4890	135.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					4,456.5		222.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	3,935.0			0.2660	1.0	
	公共下水道	m ³	3,935.0			0.4000	1.6	
合計							2.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119_自動販売機の不要時の停止、C129_季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小岩アーバンプラザ										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北小岩 1-17-1									
事業所等の延床面積	7,583.44		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有					
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	365	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	708	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	7	t
	総計(= +)	715	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	93.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	104,155.1	45.00	4,687.0	0.0136	233.7	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	970,522.0	9.76	9,472.3	0.4890	474.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					14,159.3		708.3	
その他	水道及び工業用水道	m ³	10,634.0			0.2660	2.8	
	公共下水道	m ³	10,634.0			0.4000	4.3	
合計							7.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握	
			B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策			C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、C123_温湿度の適正管理、C124_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119_自動販売機の不要時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	北小岩コミュニティ会館											
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	6		
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	1	区市町村名	江戸川区	
	町名番地下	北小岩 6-35-17										
事業所等の延床面積	1,896.60		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有								
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)				
	工場			複合施設				その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入				証書による環境価値の利用				
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	39	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	77	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	77	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	40.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	17,729.4	45.00	797.8	0.0136	39.8	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	76,723.0	9.76	748.8	0.4890	37.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,546.6		77.3	
その他	水道及び工業用水道	m ³	821.0			0.2660	0.2	
	公共下水道	m ³	821.0			0.4000	0.3	
合計							0.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119_自動販売機の不要時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東部事務所									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	8
事業所等の所在地	〒132-0001 江戸川区									
	町名番地以下	東瑞江 1-17-1								
事業所等の延床面積	3,455.35 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有		他者所有							
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)		建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)		商業施設(飲食)					
	工場		複合施設		その他					
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入		証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	73	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	142	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	143	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	41.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	15,619.2	45.00	702.9	0.0136	35.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	220,375.0	9.76	2,150.9	0.4890	107.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,853.7		142.8	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,823.0			0.2660	0.5	
	公共下水道	m ³	1,823.0			0.4000	0.7	
合計							1.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C112_季節に応じた外気導入量の適正化、C113_中間期における外気冷房の実施、C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し</p>

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東部フレンドホール									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	9
事業所等の所在地	〒132-0011 区市町村名 江戸川区									
	町名番地下 瑞江2-5-7									
事業所等の延床面積	5,415.76 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	123	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	239	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	2	t
	総計(= +)	241	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	44.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	42,652.7	45.00	1,919.4	0.0136	95.7	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	294,896.0	9.76	2,878.2	0.4890	144.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					4,797.6		239.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	3,119.0			0.2660	0.8	
	公共下水道	m ³	3,119.0			0.4000	1.2	
合計							2.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C112_季節に応じた外気導入量の適正化、C113_中間期における外気冷房の実施、C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	鹿骨事務所									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	1
事業所等の所在地	〒133-0073 区市町村名 江戸川区									
	町名番地以下	鹿骨 1-54-2								
事業所等の延床面積	3,313.76 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有		他者所有							
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)		建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)		商業施設(飲食)					
	工場		複合施設		その他					
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入		証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	61	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	118	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	2	t
	総計(= +)	120	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	35.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	24,535.6	45.00	1,104.1	0.0136	55.1	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	130,491.0	9.76	1,273.6	0.4890	63.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,377.7		118.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	3,310.0			0.2660	0.9	
	公共下水道	m ³	3,310.0			0.4000	1.3	
合計							2.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108 エネルギー等情報の対策への活用、C113_中間期における外気冷房の実施、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119_自動販売機の不要時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	篠崎コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	上篠崎 4-21-8									
事業所等の延床面積	1,468.93		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有					
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	32	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	62	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	62	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	42.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	15,304.1	45.00	688.7	0.0136	34.3	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	58,258.0	9.76	568.6	0.4890	28.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,257.3		62.8	
その他	水道及び工業用水道	m ³	625.0			0.2660	0.2	
	公共下水道	m ³	625.0			0.4000	0.3	
合計							0.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108 エネルギー等情報の対策への活用、C113_中間期における外気冷房の実施、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119_自動販売機の不要時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	虹の家									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	4
事業所等の所在地	〒 1 3 3 - 0 0 5 5					区市町村名 江戸川区				
	町名番地下 西篠崎 2-18-22									
事業所等の延床面積	1,998.33		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満	
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	50	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	102	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	2	t
	総計(= +)	104	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	51.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他(LPG)	kg	7,679.9	50.80	390.1	0.0161	23.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	162,169.0	9.76	1,582.8	0.4890	79.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,972.9		102.3	
その他	水道及び工業用水道	m ³	3,094.0			0.2660	0.8	
	公共下水道	m ³	3,094.0			0.4000	1.2	
合計							2.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C112_季節に応じた外気導入量の適正化、C113_中間期における外気冷房の実施、C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C124_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	みんなの家										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	4	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	本一色 3-38-3									
事業所等の延床面積	2,175.06		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有					
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	39	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	76	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	2	t
	総計(= +)	78	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	34.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	4,108.3	45.00	184.9	0.0136	9.2	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	137,268.0	9.76	1,339.7	0.4890	67.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,524.6		76.3	
その他	水道及び工業用水道	m ³	3,146.0			0.2660	0.8	
	公共下水道	m ³	3,146.0			0.4000	1.3	
合計							2.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C123_室温の適正管理、C124_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	えがおの家									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	6
事業所等の所在地	〒134-0084 区市町村名 江戸川区									
	町名番地下 東葛西 5-10-5									
事業所等の延床面積	2,305.69 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	46	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	90	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	2	t
	総計(= +)	92	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	39.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	5,427.8	45.00	244.2	0.0136	12.2	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	161,177.0	9.76	1,573.1	0.4890	78.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,817.3		91.0	
その他	水道及び工業用水道	m ³	3,176.0			0.2660	0.8	
	公共下水道	m ³	3,176.0			0.4000	1.3	
合計							2.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C508	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
			C112	季節に応じた外気導入量の適正化	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C113_中間期における外気冷房の実施、C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C124_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C121_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	さくらの家									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	7
事業所等の所在地	〒132-0003 区市町村名 江戸川区									
	町名番地以下	小松川 3-13-4								
事業所等の延床面積	1,200.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	39	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	77	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	78	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	64.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	14,848.8	45.00	668.2	0.0136	33.3	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	89,701.0	9.76	875.5	0.4890	43.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,543.7		77.2	
その他	水道及び工業用水道	m ³	2,251.0			0.2660	0.6	
	公共下水道	m ³	2,251.0			0.4000	0.9	
合計							1.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握			
	B102	関連他者からの情報を加えて把握			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C124_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C121_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	障害者支援ハウス									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	8
事業所等の所在地	〒134-0083 区市町村名 江戸川区									
	町名番地以下	中葛西 2-11-8								
事業所等の延床面積	1,597.22 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分		1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	70	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	137	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3	t
	総計(= +)	140	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	85.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	10,606.1	45.00	477.3	0.0136	23.8	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	231,997.0	9.76	2,264.3	0.4890	113.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,741.6		137.2	
その他	水道及び工業用水道	m ³	5,714.0			0.2660	1.5	
	公共下水道	m ³	5,714.0			0.4000	2.3	
合計							3.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C124_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東篠崎保育園										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	8	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東篠崎 1-6-1									
事業所等の延床面積	1,375.51	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)		33	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	64	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	2	t
	総計(= +)	66	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	46.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	3,286.6	45.00	147.9	0.0136	7.4	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	117,512.0	9.76	1,146.9	0.4890	57.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,294.8		64.8	
その他	水道及び工業用水道	m ³	3,074.0			0.2660	0.8	
	公共下水道	m ³	3,074.0			0.4000	1.2	
合計							2.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策			C132	開け放し開口部面積の縮小
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	江戸川保健所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央 4-24-19									
事業所等の延床面積	1,450.08	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	4	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	30	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	58	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	58	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	39.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	38.2	45.00	1.7	0.0136	0.1
	その他()			0.0				
	その他()			0.0				
	その他()			0.0				
	その他()			0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	119,213.8	9.76	1,163.5	0.4890	58.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計						1,165.2		58.4
その他	水道及び工業用水道		m ³	1,079.1			0.2660	0.3
	公共下水道		m ³	1,079.1			0.4000	0.4
合計								0.7

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小岩健康サポートセンター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小岩 3-23-3									
事業所等の延床面積	2,273.70		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	4	2	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	39	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	77	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	77	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	33.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	187.5	45.00	8.4	0.0136	0.4	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	157,692.0	9.76	1,539.1	0.4890	77.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,547.5		77.5	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,200.0			0.2660	0.3	
	公共下水道	m ³	1,200.0			0.4000	0.5	
合計							0.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策			C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C123_室温の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	葛西駅広場										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中葛西 5-43									
事業所等の延床面積	5,679.55		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有					
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	7	9	4	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	127	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	247	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	248	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	43.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	506,610.0	9.76	4,944.5	0.4890	247.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					4,944.5		247.7	
その他	水道及び工業用水道	m ³	2,895.0			0.2660	0.8	
	公共下水道	m ³	2,895.0			0.4000	1.2	
合計							1.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
				C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108_エネルギー等情報の対策への活用

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	瑞江駅南口駐輪場										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	瑞江 2-2-1先									
事業所等の延床面積	4,800.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	7	9	4	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	30	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	59	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	59	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	12.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	121,360.0	9.76	1,184.5	0.4890	59.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,184.5		59.3	
その他	水道及び工業用水道	m ³	293.0			0.2660	0.1	
	公共下水道	m ³	293.0			0.4000	0.1	
合計							0.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策			C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C132	開け放し開口部面積の縮小
	設備導入対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C121_屋内駐車場換気の不要時間の停止

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新川地下駐車場									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	5
事業所等の所在地	〒134-0091 区市町村名 江戸川区									
	町名番地以下 船堀7-2-1									
事業所等の延床面積	10,500.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分		1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	74	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	144	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	144	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	13.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	296,358.0	9.76	2,892.5	0.4890	144.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,892.5		144.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	297.0			0.2660	0.1	
	公共下水道	m ³	297.0			0.4000	0.1	
合計							0.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
				C510	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策			C511	その他設備の効率的な使用法表示
設備導入対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検	

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	<input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	<input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108_エネルギー等情報の対策への活用

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	行船公園									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	7
事業所等の所在地	〒134-0081 区市町村名 江戸川区									
	町名番地下 北葛西3-2-1									
事業所等の延床面積	226.48 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	5	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	235	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	457	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	33	t
	総計(= +)	490	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	2,017.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	23,467.5	45.00	1,056.0	0.0136	52.7	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	827,485.0	9.76	8,076.3	0.4890	404.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					9,132.3		457.3	
その他	水道及び工業用水道	m ³	50,400.0			0.2660	13.4	
	公共下水道	m ³	50,400.0			0.4000	20.2	
合計							33.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C508	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C113_中間期における外気冷房の実施、C122_冷風と温風の混合損失の防止、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	総合レクリエーション公園(なぎさポニーランド)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西6・7・8丁目									
事業所等の延床面積	474.53	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	5	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	115	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	223	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	13	t
	総計(= +)	236	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	469.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他(LPG)	kg	388.0	50.80	19.7	0.0161	1.2	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	455,275.0	9.76	4,443.5	0.4890	222.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					4,463.2		223.8	
その他	水道及び工業用水道	m ³	19,565.0			0.2660	5.2	
	公共下水道	m ³	19,565.0			0.4000	7.8	
合計							13.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策			C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、B108_エネルギー等情報の対策への活用、C113_中間期における外気冷房の実施、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C129_季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	希望の家(新館)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	8	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	江戸川 5-32-6									
事業所等の延床面積	2,128.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有					
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	59	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	114	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	115	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	53.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	6,138.3	45.00	276.2	0.0136	13.8	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	206,502.0	9.76	2,015.5	0.4890	101.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,291.7		114.8	
その他	水道及び工業用水道	m ³	2,843.0			0.2660	0.8	
	公共下水道	m ³	2,843.0			0.4000	1.1	
合計							1.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C104	採光を利用した消灯の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C508	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
			C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	
			C125	進入外気に伴う空調負荷の低減	
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107_主要設備の使用状況の把握、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C121_屋内駐車場換気の不要時間の停止

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	篠崎駅西口駐輪場										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	8	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	篠崎町 7-20-19									
事業所等の延床面積	3,600.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	7	9	4	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	34	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	67	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	67	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	18.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	138,562.0	9.76	1,352.4	0.4890	67.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,352.4		67.8	
その他	水道及び工業用水道	m ³	226.0			0.2660	0.1	
	公共下水道	m ³	226.0			0.4000	0.1	
合計							0.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 =(/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握					
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策			C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C512	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備導入対策				
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	児童相談所									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	8	8
事業所等の所在地	〒132-0021 区市町村名 江戸川区									
	町名番地下 中央3-4-18									
事業所等の延床面積	4,508.91 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分		1年未満		
所有形態	自己所有					他者所有				
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	109	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	211 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	215 t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	46.7 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	11,901.5	45.00	535.6	0.0136	26.7	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	378,089.0	9.76	3,690.1	0.4890	184.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					4,225.7		211.6	
その他	水道及び工業用水道	m ³	7,407.0			0.2660	2.0	
	公共下水道	m ³	7,407.0			0.4000	3.0	
合計							4.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C112_季節に応じた外気導入量の適正化、C113_中間期における外気冷房の実施、C123_温湿度の適正管理、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	松島コミュニティ会館									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	8	9
事業所等の所在地	〒132-0003 区市町村名 江戸川区									
	町名番地以下	松島4-25-6								
事業所等の延床面積	2,893.56	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有		他者所有							
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)		建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)		商業施設(飲食)					
	工場		複合施設		その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入		証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	74	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	143	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	0	t
	総計(= +)	143	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	49.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	4,884.5	45.00	219.8	0.0136	11.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	272,010.0	9.76	2,654.8	0.4890	133.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					2,874.6		144.0	
その他	水道及び工業用水道	m ³	990.0			0.2660	0.3	
	公共下水道	m ³	990.0			0.4000	0.4	
合計							0.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130_エレベータ運転台数の制限

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	江戸川保健所サテライト										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	9	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	平井6-1-17									
事業所等の延床面積	4,839.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所		商業施設(物販)			商業施設(飲食)					
	工場		複合施設			その他					
日本標準産業分類における細分類番号	8	4	1	1	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		再生可能エネルギー電気の受入			証書による環境価値の利用					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	41	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	81	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	82	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	16.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	3,582.4	45.00	161.2	0.0136	8.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	149,950.0	9.76	1,463.5	0.4890	73.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,624.7		81.4	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,533.0			0.2660	0.4	
	公共下水道	m ³	1,533.0			0.4000	0.6	
合計							1.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) ×

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☐ 無		
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度) <input type="text"/> %
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)	<input type="text"/>	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量) <input type="text"/> t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C129_季節に応じた温度設定の見直し